

ヴォーカル・アンサンブル カペラ 2023/2024 定期公演 ① シリーズ ルネサンス音楽の名曲 3

オケゲムの レクイエム

美 し き 哀 悼 歌

～グレゴリオ聖歌とルネサンス・ポリフォニーによるミサ形式の演奏会

10.27 金 19時開演 (18時15分 開場)

※開演 20分前より 音楽監督の花井哲郎による説明があります

カトリック関口教会
東京カテドラル聖マリア大聖堂

"Jean de Ockeghem :
Missa pro defunctis"
Medieval and
Renaissance music concert
in St.Mary's Cathedral Tokyo



光
の
中
へ

グレゴリオ聖歌 死者のためのミサ固有唱
Gregorian chant, Proprium missae pro defunctis

ジャン・ド・オケゲム「死者のためのミサ曲」
Jean de Ockeghem (ca.1410-1497), Missa pro defunctis

ギヨーム・デュファイ「めでたし天の後」(4声)
Guillaume Dufay (1397-1474), "Ave Regina Caelorum" a 4

ジョスカン・デ・プレ「森のニンフ」
Josquin des Prez (1450/55?-1521), "Nymphes des bois"

ハインリヒ・イザーク「誰が私の頭に水を与えるか」
Heinrich Isaac (ca. 1450-1517), "Quis dabit capiti meo"

ピエール・ド・ラ・リユー「アブサロム、わたしの息子」
Pierre de la Rue, "Absalon fili mi" ほか



Vocal ensemble Cappella

● 会場チケット料金【全席自由】 ※会員優先席あり

前売 一般席 4,600円 前売 ペア席 8,500円

学生席 2,500円 当日 5,100円 (すべて税込)

※学生券を購入された方は入場時に学生証をご提示ください

※前売ペア券は二人同時にご入場ください

e+ イープラス eplus.jp

コーラスカンパニー choruscompany.com

東京古典楽器センター 03-3952-5515

サンパウロ(「四谷」駅前) 03-3357-8642

● 配信チケット料金【当日～11月10日(金)まで2週間】

配信チケット 2,500円 応援チケット 5,000円 (すべて税込)

※いずれもシステム手数料 220円(税込)が別途かかります

WOOMO (ウーモ) woomo.jp

チケット・お問い合わせ事務局 **フォンス・フローリス**

070-4123-0871 (平日10時-17時)

contact@fonsfloris.com

主催 株式会社フォンス・フローリス

助成 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援)) 独立行政法人日本芸術文化振興会 文部科学省



カペラ公式サイト

カペラ公式 web サイト cappellajp.com

光の中へ——。最古の多声ミサ曲を、典礼形式で。



中央の赤い服の人物が、ジャン・ド・オケゲムといわれています

亡くなった人を追悼する音楽には、心を揺さぶる美しい名曲が古今数多くあります。最古にして最も多く歌われてきたのは、言うまでもなくグレゴリオ聖歌の死者のためのミサですが、最も古い多声のミサ曲として知られるのが15世紀の大作曲家オケゲムの作品です。そして最古と言うだけでなく、数あるレクイエムのなかでも特筆すべき傑作です。

グレゴリオ聖歌のレクイエムの旋律が、慰めに満ちたハーモニーで光の世界へ誘うかのように響きます。かと思えば、驚くほど劇的な展開が繰り広げられる箇所もあります。通常の1声部2名編成のアンサンブルのほか、1人1声のソリスト的な編成も織り交ぜ、そういった作品の真価が浮き彫りになるような、カペラとしても今までとは違ったアプローチの演奏を目指しています。いろいろな演奏を耳にされた方にとってもきっと新しい発見があることと思います。可能性に満ちたカペラの新境地を、どうぞご期待ください。

今回の演奏会では、このオケゲムのミサ曲に朗読や祈祷などを交え、典礼の形式で演奏します。またプログラム後半ではルネサンス時代にさまざまな機会に作られた追悼音楽の名作ばかりを集めました。秋の一日、心静かに生と死に思いをめぐらせていただければ幸いです。

演奏 ヴォーカル・アンサンブル カペラ vocal ensemble CAPPELLA

1997年古楽演奏家 花井哲郎が、古楽に取り組み声楽家たちと共に結成。主なレパートリーはグレゴリオ聖歌、及びフランス・フランドルを中心としたルネサンスの多声音楽(ポリフォニー)です。典礼の形式を尊重し、歴史的な”計量記譜”を使用する演奏法にこだわって、アカペラの柔らかく豊かな響きで宗教作品の気高い精神性を歌い上げます。

クラシック音楽専門インターネットラジオOTTAVAのジングルを担当。2015年第27回ミュージック・ペンクラブ「室内楽・合唱音楽部門賞」受賞。最新CDはジョスカンの没後500年を記念するシリーズ8作目「ジョスカン・デ・プレ ミサ曲全集 第8集 カノンのミサ」(レグルス)。ストーリーミング配信、全国のCDショップにて絶賛発売中。

公式サイト cappellajp.com / twitter @cappellajp / facebook @cappella.jp



カトリック関口教会 東京カテドラル聖マリア大聖堂

東京都文京区関口 3-16-15
ホテル椿山荘の前

【地下鉄で】

東京メトロ有楽町線「Y12 江戸川橋駅」1a 出口より
徒歩約15分
※エレベーター出口もあります

【バスで】

JR 山手線「目白駅」より・・・都営バス 白61系統「新宿駅西口行き」
JR 山手線「新宿駅」より・・・都営バス 白61系統「練馬車庫前行き」
→ どちらも「ホテル椿山荘東京前」下車 徒歩1分



ヴォーカル・アンサンブル カペラ 2023/24 年 定期公演 2 次回の予定は

シリーズ 知られざる傑作 3 [2023 年 10 月発売予定]

聖母の夕べの祈り ~ゴンベールとポスト・ジョスカン世代の作曲家たち

2024年1月 (日程未確定)

ニコラ・ゴンベール「めでたいとも聖なるマリア」「アヴェ・マリア」
Nicolas Gombert (ca.1495-ca.1560), "Ave sanctissima Maria" "Ave Maria"
クレメンス・ノン・パパ「わたしは野の花」
Clemens non Papa (ca.1510/1515-1555/56), "Ego flos campi" ほか

【新型コロナウイルス感染予防に関するお知らせとお願い】

公演開催に際し東京都やクラシック音楽公演運営推進協議会によるガイドラインに従い、新型コロナウイルス感染拡大予防策を引き続き実施しますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

・開演中を含めマスクをご着用ください。

・会場内での談話、終演後の出演者とのご面会は、なるべくお控えください。